



ハイブリッドナノフォーカスX線CTによる微細構造解析

ナノスケールの非破壊分析による構造解析に適しています。

特徴 「Sigray社製Apex-Hybrid 200」

1) ハイブリッド測定機構

電池セルや電子デバイスなどの微細構造評価に使い分けられます。

- ・ ラミノグラフィは平板試料の測定に適しており、評価試料サイズの制限を広げます。
- ・ コーンビーム直交CTはより忠実な画像コントラストが期待できます。

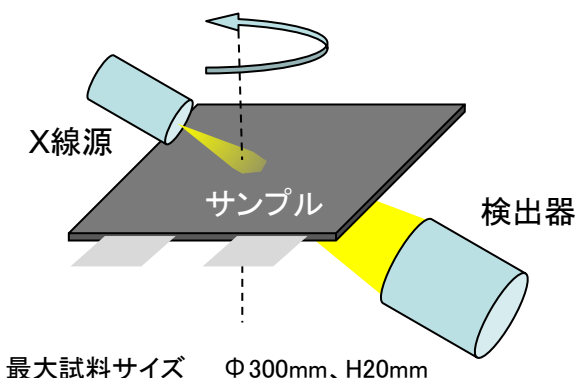
2) 高分解能

- ・ 管電圧 40–160kV
- ・ 最大管電力 16W
- ・ 空間分解能 約0.4 μ m
- ・ 最小スポットサイズ 0.6 μ m

測定原理

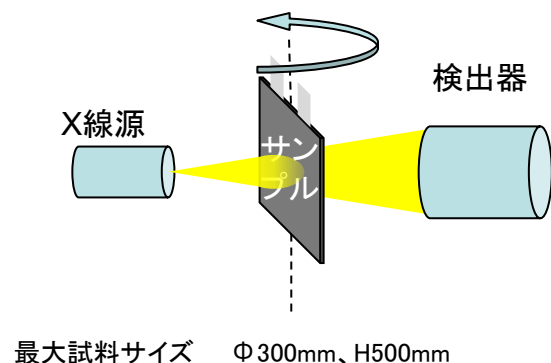
● ラミノグラフィ

試料サイズに影響されず局所の高分解能分析が可能です。
特徴的なアーティファクトのため、像解釈には注意が必要です。



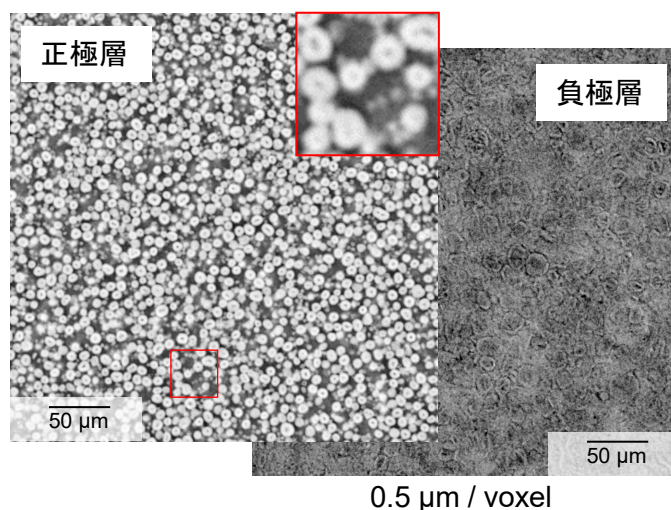
● コーンビーム直交CT

画像コントラストの良好な高分解能分析が可能です。
試料サイズに制限があります。

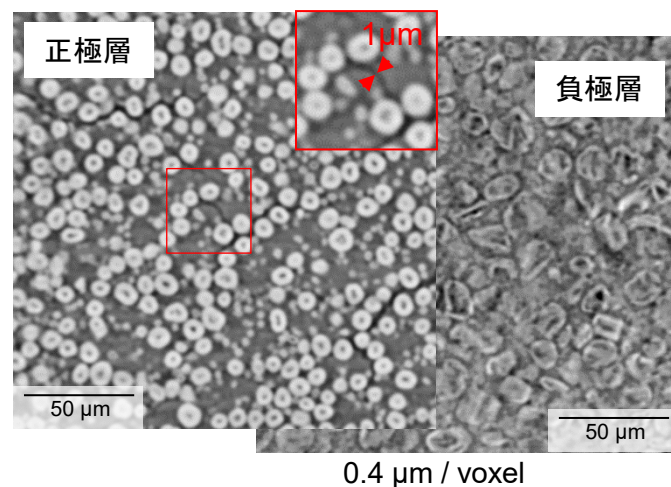


全固体電池セルの分析例

● ラミノグラフィ



● 直交CT



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2025 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

